

第2学年 道徳科学習指導案

日 時 平成29年9月28日(木) 6校時

児 童 2年1組 男15名 女15名 計30名

指導者 邊見 恵

1 主題名 助け合う友達 (B 友情, 信頼)

2 教材名 「森のともだち」(出典 東京書籍 みんなのしく 2年)

3 主題について

(1) 児童について

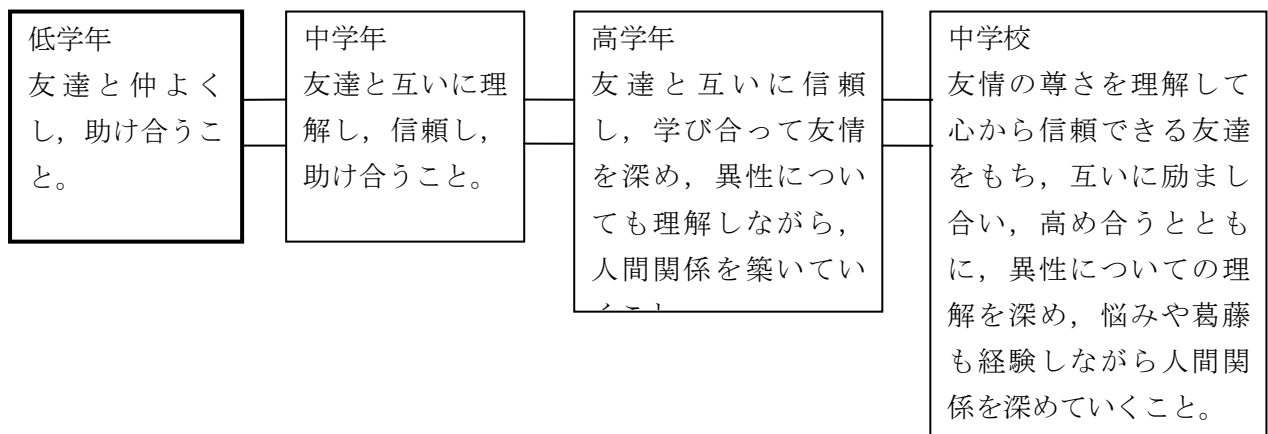
本学級の児童は、明るく素直であり、学習や行事等に対し意欲的に取り組み、協力する様子も見られる。休み時間の様子でも、1年生の頃と比べて、積極的に友達と関わって活動する児童が多くなってきた。

しかし、自分にとって都合のよいように考えてトラブルが起こることも増えてきた。周りからの注意があっても自分の感情を抑えることができず、友達のことを理解するのにやや時間がかかる児童も数名見られる。

道徳の授業では、ペアでの伝え合いの場面で、自分の考えを進んで伝えることができるようになってきている。中には自分の考えをもつことができない児童もいるが、友達の考えから学ぼうとしっかりと聞く様子が見られる。

(2) 価値について

第1学年及び第2学年の内容の「B 友情, 信頼」は「友達と仲よくし、助け合うこと。」である。これは、友達関係における基本とすべきことであり、友達との間に信頼と切磋琢磨の精神をもつことに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。



友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり、友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。また、世代が同じ者同士として、似たような体験や共通の興味や関心を有することから、互いの考え方などを交え、豊かに生きる上での大切な存在として、互いの成長とともにその影響力を拡大させていく。

児童にとって、友達関係は最も重要な人間関係の一つであり、友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。よりよい友達関係を築くには、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情を育てていくことができるように指導することが大切である。また、異性についても互いに理解し合いながら人間関係を築いていくことが必要である。

(3) 資料について

本資料は、森の動物たちが助け合う物語である。森の動物たちの間の問題と事件であるが、同じような問題は児童の間にもしばしば起こっている。事件そのものは同じではないが、困難な立場にある友達を助けようと協力する点では、児童の共感を呼ぶことができる内容である。動物が主人公の話なので、抵抗なく「友情、信頼」について考えていくことができるであろう。

(4) 指導にあたって

導入では、事前に行った意識調査をもとに、友達と互いに仲よく助け合うことについて考えていこうとする気持ちをもたせる。

展開では、わがままで乱暴者のこんきちを助けた動物たちの気持ちをワークシートに書かせて自分の考えをもたせ、ペアや全体で交流する場面を設定する。

終末では、友達と互いに仲よく助け合い、励まし合っていこうとする事のよさについてこれまでの経験を思い出させながら、これからの生活につなげられるようにまとめていきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

友達と互いに仲よくし、助け合っていこうとする心情を育てる。

(2) 研究内容に関わる手立てについて

【研究内容1】・・・言語活動を充実させる単元構想

・「2 (4) 指導にあたって」を参照

【研究内容2】・・・思いをもって伝え合う言語活動

・動物たちの気持ちを想像させるためにワークシートを工夫する。

・こんきちを助けた動物たちの気持ちについて考えを深めさせるために、ペアで交流する場を設定する。【言語活動1】

【研究内容3】・・・高まりを自覚させる振り返り

・これからの生活で実践していきたいことに視点をあてた振り返りをさせ、価値の高まりを自覚させる。

(3) 展開

	学習内容と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 友達に助けられたことについて話し合う。</p> <p>○どんなことで助けられましたか。</p> <p>○その時、どう思いましたか。</p> <p>2 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">友だちと助け合うことについて考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをした時に助けてくれた。 ・失くした物を一緒に探してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その時の気持ちを思い出すことによって、「助け合い」のよさに触れるようにする。 ・本時のねらいを明確に話す。
展開 33分	<p>3 「森のともだち」を読み、話し合う。</p> <p>○森の動物たちは、こんきちをどう思いましたか。</p> <p>◎森の動物たちは、どんな気持ちでこんきちを助けたのでしょうか。</p> <p>○大声で泣き出したこんきちに、動物たちはどんな声をかけたでしょう。</p> <p>4 自分の生活を振り返る。</p> <p>○これまで友達と助け合ったり励まし合ったりしたことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わがままでいやだな。 ・乱暴だから遊びたくないな。 ・おおかみにつかまってかわいそう。 ・森の友達だから助けよう。 ・これからは仲よくしよう。 ・助け合ってくらそう。 ・係や当番の仕事を助け合っている。 ・〇〇を練習している時に「がんばれ。」と励ましてくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が増えたので大喜びしている動物たちについてふれる。 ・こんきちを助けた動物たちの気持ちを考えさせるために、ワークシートに書かせたものをペアで話し合わせ、全体で考えを深めさせる。 【言語活動1】 ・こんきちが「ごめんよ。」と言って泣いている様子を挿し絵で捉え、こんきちの気持ちを考えさせてから発問する。 ・友達と仲よくし、助け合ったり励まし合ったりすることの大切さについて押さえる。
終末 7分	<p>5 今日の学習について振り返る。</p> <p>○心に残ったことや、これからのことについて書きましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲よくすることが大切。 ・困っている友達を助けてあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに学習の振り返りをさせ、友達と助け合い、励まし合おうとする心情をもたせる。

(4) 板書計画

森のともだち

④か ともだちとたすけ合うことについて考えよう。

【森のみんな】

なかよくたすけあつて

ともだちがふえた。

大よろこび

【こんきち】

(挿し絵)

わがまま

らんぼうもの

みんなにげてしまう

(挿し絵)

おおかみにつかまる

「たすけてくれ。」

みんなでそうだん

「こんきちくんをはなせ。」

・ともだちだから

たすけよう。

さつとにげる

(挿し絵)

ぴよん子がかまる。

みんなでたすける。

(挿し絵)

「ごめんよ、

ごめんよ。」

ともだち

なかよくする

たすけ合う

はげまし合う